

第 4 回薩摩川内市自治総合審議会

- 日 時 令和 5 年 8 月 1 日 (火) 13時30分～
○ 場 所 薩摩川内市役所本庁6階 601会議室

会 次 第

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 今後のスケジュールについて
- 4 協議・報告

区分	内 容	資料
協議	第3次薩摩川内市総合計画（原案）について ②	原案等
協議	重点戦略プランについて	資料2

- 5 その他
- 6 閉 会

薩摩川内市自治総合審議会 名簿

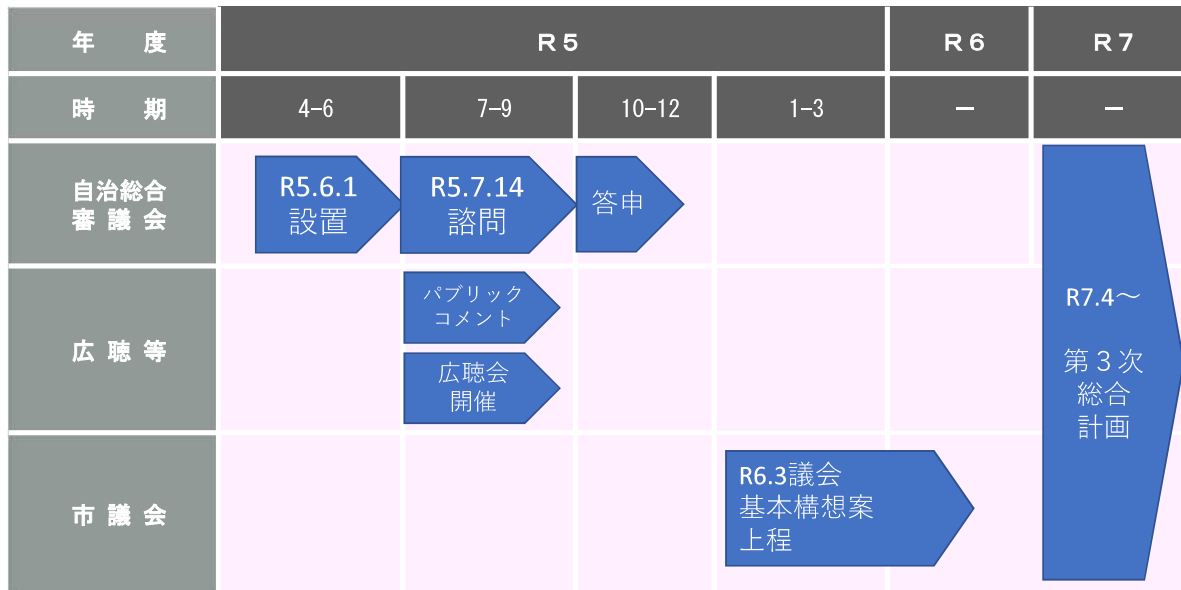
区分	団体等名称	役職名	氏名
1	川内商工会議所	会頭	橋口 知章
2	薩摩川内市商工会	理事	坊野 好伸
3	事業協同組合 薩摩川内市企業連携協議会	代表理事	田中 博
4	北さつま農業協同組合	総務経済担当常務	下口 和幸
5	甌島漁業協同組合	副組合長	瀧津 俊二
6	薩摩川内市教育委員会	教育委員	常盤 美幸
7	鹿児島銀行川内支店(川内市金融団三水会)	店内代理	福重 瑞恵
8	株式会社 薩摩川内市観光物産協会 (FMさつませんだい)	代表取締役社長	井龍 大
9	社会福祉法人 薩摩川内市社会福祉協議会	会長	上屋 和夫
10	特定非営利活動法人 薩摩川内市スポーツ協会	副会長	川畑 佐代子
11	特定非営利活動法人 薩摩川内市文化協会	理事	吉永 真弓
12	公益財団法人 薩摩川内市民まちづくり公社	理事長	今吉 俊郎
13	公益社団法人 川内青年会議所	副理事長	山崎 涼香
14	隈之城地区コミュニティ協議会 (薩摩川内市地区コミュニティ協議会連絡会)	会長	赤崎 弘熙
15	八重地区コミュニティ協議会 (薩摩川内市地区コミュニティ協議会連絡会)	会長	前園 正夫
16	青瀬地区コミュニティ協議会 (薩摩川内市地区コミュニティ協議会連絡会)	会長	東 実
17	鹿児島県北薩地域振興局	局長	北菌 育子
18	川内公共職業安定所	所長	清藤 朋子
19	鹿児島純心大学	准教授	柳園 順子
20	鹿児島大学	教授	升屋 正人
21	薩摩川内市まちづくりデザイン会議	会長	中俣 知大
22	薩摩川内市男女共同参画女性人材バンク	—	内野 久子
23	公募	—	川原 由美

【事務局】

No.	所 属	役職名	氏名
1	未来政策部	部長	古川 英利
2	企画政策課	課長	下門 隆嗣
3	企画政策課	SDGs未来都市 担当課長	中村 慎吾
4	企画政策課	課長代理	中俣 哲男
5	企画政策課	主幹兼 SDGs・開発G長	井ノ下 真一
6	企画政策課	政策G長	神川 健一郎
7	企画政策課	地域デザイン・ 移住定住G長	早瀬 孝一
8	企画政策課	政策G員	鮫島 貴裕
9	企画政策課	政策G員	新原 翔二
10	企画政策課	政策G員	神菌 直明
11	企画政策課	政策G員	堂前 康介
12	企画政策課	SDGs・開発G員	久保田 詩織



今後のスケジュール



※ スケジュールは現時点の予定です。審議の進捗等により変更となる場合があります。

スケジュール詳細

時期		自治総合審議会		その他
R5.6.1(木)	10:30～	【第1回】	委嘱・概要等説明	
R5.7.7(金)	14:00～	【第2回】	案イメージ説明	
R5.7.14(金)	13:30～	【第3回】	諮問・原案説明①	
R5.7～8				広聴会（Vトーク）
R5.8.1(火)	13:30～	【第4回】	原案説明②	
R5.8				パブリックコメント (8/1～8/31)
R5.8.8(火)	13:30～	【第5回】	原案説明③	
R5.9.14(木)	13:30～	【第6回】	広聴等の状況報告	
R5.10.24(火)		【第7回】	調整	第7回以降の開催時期・回数に ついては審議の状況により変動
R5.11.21(火)		【第8回】	答申	
R5.12				答申を踏まえ庁内調整
R6.1				庁内案決定
R6.2				R6.3議会 基本構想案上程
R7.4～		第3次薩摩川内市総合計画		

※ スケジュールは現時点の予定です。審議の進捗等により変更となる場合があります。

第3次薩摩川内市総合計画
～ 薩摩川内2034ビジョン ～

重点戦略プラン



重点戦略プラン



SDGs 未来
都市計画

環境チャレンジ戦略

- 1 自然環境保全
- 2 サークュラー都市環境
- 3 次世代エネルギー
- 4 国土強靱化

社会チャレンジ戦略

- 1 少子化・子育て
- 2 安全・安心
- 3 地域デザイン
- 4 ひとみらい・社会教育

経済チャレンジ戦略

- 1 サークュラー都市経済
- 2 担い手育成・移住定住
- 3 シティセールス
- 4 川内港臨海ゾーン

実現チャレンジ戦略

- 1 スマートデジタル
- 2 財政健全化
- 3 チーム薩摩川内

デジタル田園都
市構想総合戦略

政策 1. 社会チャレンジ戦略

- ◇あらゆる人達が健康で安心して暮らせるまちづくり
- ◇全ての市民が互いに支えあいながら、健やかで安全に安心して暮らせるよう、様々な分野において、それぞれの機能の確保及び向上させる



社会チャレンジ戦略 (1/2)

(1) 少子化・子育てプロジェクト

- ◆結婚を希望する人々の支援
- ◆安心して子育てや学校生活を送ることができる仕組みづくり
- ◆子どもの「育ち」を支える環境の整備
- ◆妊娠期から青年期までの支援体制強化

(2) 安全・安心プロジェクト

- ◆公共施設の維持、再配置及び処分の推進
- ◆投資的経費の縮減
- ◆市民サービスの維持と向上
- ◆防災力・消防力の強化
- ◆市民・事業者・行政の連携体制の充実
- ◆地域医療体制等の維持・強化
- ◆全ての市民共生活して暮らすことのできる体制づくり
- ◆健康づくりに対する市民意識の向上

(3) 地域デザインプロジェクト

- ◆地区コミュニティ協議会や自治会の活動や主体同士の連携支援
- ◆各公共交通機関の利用促進
- ◆持続可能な地域公共交通ネットワークの構築
- ◆「地域らしさ」を最大限に活かし魅力を高める地域づくり
- ◆安全や暮らしやすさが確保される生活環境の整備

政策 1. 社会チャレンジ戦略

- ◇あらゆる人達が健康で安心して暮らせるまちづくり
- ◇全ての市民が互いに支えあいながら、健やかで安全に安心して暮らせるよう、様々な分野において、それぞれの機能の確保及び向上させる



社会チャレンジ戦略 (2/2)

(4) ひとみらい・社会教育プロジェクト

- ◆個性や能力を発揮できる社会づくり
- ◆男女共同参画の学習機会の充実と協力・連携の場の設置
- ◆男性の家事・育児、介護への参画を目指した啓発
- ◆男女共同参画センターの機能強化
- ◆ダイバーシティ社会の形成
- ◆多様性への理解促進と人権意識の普及と啓発
- ◆多様な学習機会やその成果を発表する機会の提供
- ◆生涯学習人材育成

- ◆地域の魅力づくりや課題解決に取り組み団体等の支援
- ◆子どもが自分の将来、夢、希望、可能性を信じる事ができる学習環境づくり
- ◆「地域とともにある学校」づくりを目指した学校と地域の連携を強化
- ◆文化財を継承する人材の育成と体制づくり
- ◆20年前に誕生した薩摩川内市全体を対象とした「薩摩川内市史」の編纂

政策 2. 環境チャレンジ戦略

- ◇次世代エネルギー産業の育成支援、ごみの減量化などの推進による自然環境の保全や環境と経済を両立した地球温暖化対策の実施
- ◇大規模自然災害に備えた強靱な地域づくり



環境チャレンジ戦略

(1) 自然環境保全プロジェクト

- ◆外来種の繁殖を防ぐために駆除活動の実施
- ◆外来生物侵入の未然防止

- ◆不法投棄対策の強化
- ◆良好な環境の保全

(2) サーキュラー都市環境プロジェクト

- ◆「サーキュラー都市・薩摩川内市」の実現を目指す

- ◆線形経済（大量生産→大量消費→大量廃棄）の流れを見直し、ごみの減量化・再資源化の実施

(3) 次世代エネルギープロジェクト

- ◆次世代エネルギーに対する市民理解の更なる向上を図る

- ◆次世代エネルギー産業の育成支援及び産業立地につなげる

(4) 国土強靱化プロジェクト

- ◆事前防災及び減災その他大規模自然災害に備えた強靱な地域づくり
- ◆人命保護や社会の重要な機能の維持
- ◆市民の財産及び公共施設に係る被害の最小化

- ◆国・県等と連携及び情報連絡体制の強化
- ◆インフラの適切な維持管理・修繕、予防的な補強・補修、計画的更新の実施

政策 3. 経済チャレンジ戦略

- ◇地域の持続的成長に資する産業分野の発展を図ることによる地域の雇用創出と経済活動の活性化
- ◇物流機能を生かした人、モノ、情報等の相互の連携と交流の活発化による様々な分野での活力創出を
通じた本市の稼ぐ力の向上
- ◇港湾施設の機能充実及び市民生活の利便性向上のための次世代インフラ導入の実施



経済チャレンジ戦略

(1) サークュラー都市 経済プロジェクト

- ◆補助制度を呼び水とした外部依存型の企業誘致施策の見直し
- ◆サーキュラー都市・薩摩川内市の実現

(2) 担い手育成・移住定住プロジェクト

- ◆商工業・農林漁業において人口減少による担い手不足への対応
- ◆産業を支える労働者の確保及び対策、育成するための支援体制の充実
- ◆農林漁業の生産基盤の維持
- ◆農林漁業の所得向上の仕組みづくり

(3) シティセールスプロジェクト

- ◆物流機能を生かした人、モノ、情報等の相互の連携と交流の活発化
- ◆本市観光の「おもてなし力」の強化
- ◆産業・観光振興に努め、魅力を引き出すまちづくり及び情報発信力の強化

(4) 川内港臨海ゾーンプロジェクト

- ◆「川内港臨海ゾーン」における、本市におけるSDGs・サーキュラー都市の推進
- ◆循環経済産業モデルの創出
- ◆物流拠点整備の実施

政策 4. 実現チャレンジ戦略

- ◇組織体制の見直し、職員の人材育成及び財政の健全化
- ◇市民のニーズに応じた適切なサービスの提供
- ◇市民に理解され、信頼される市政運営を行うため、市民の声に向き合い、市の取り組みの迅速な広報
- ◇デジタル技術及び市民データの活用や地域の産学官金の連携による地域課題の解決



実現チャレンジ戦略

(1) スマートデジタルプロジェクト

- ◆ AI、IoTなどのデジタル技術を活用したサービスの実装や市民データの有効活用
- ◆ あらゆる政策分野におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
- ◆ 市民の利便性や生活の質の向上

- ◆ 市民のニーズに対応した機動力あるスマート自治体を目指した組織・機能の見直し
- ◆ 多様なニーズに応じた行政サービスの更なる向上
- ◆ デジタル技術等を活用した業務改革
- ◆ デジタル技術を活用した窓口サービスの利便性向上

(2) 財政健全化プロジェクト

- ◆ 持続可能な財政運営
- ◆ 事業のスクラップアンドビルドによる事業費の削減
- ◆ 公共施設の統廃合による維持管理費の抑制などの見直し

- ◆ ふるさと納税及び企業版ふるさと納税の積極的な活用
- ◆ 財政基盤の確保

(3) チーム薩摩川内プロジェクト

- ◆ 庁内に市長を本部長とするSDGsチャレンジ本部の設置
- ◆ 専門的知見や技術、ネットワーク等を有する大学や金融機関、企業、市民や団体等との連携

- ◆ 地域全体の発展に向けて、持続可能で魅力的なまちづくりの実施